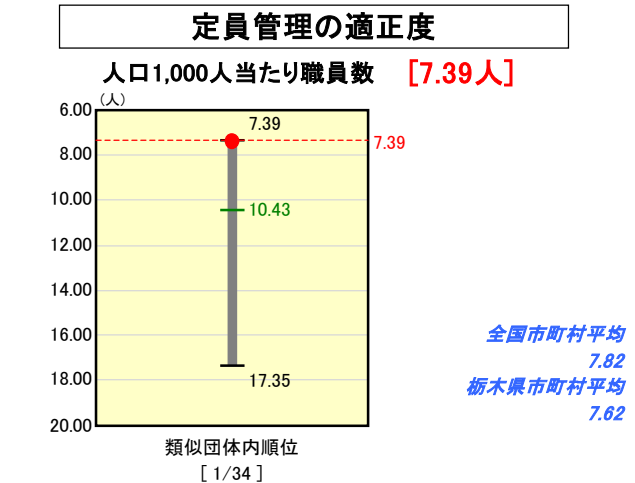
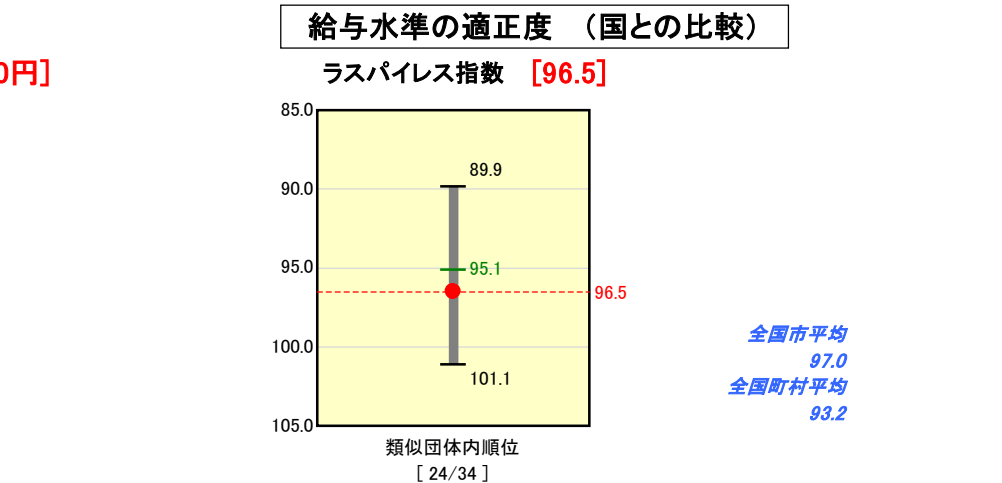
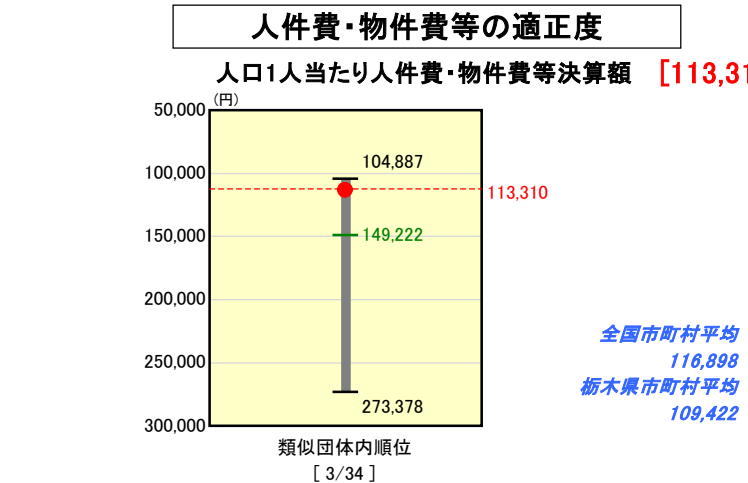
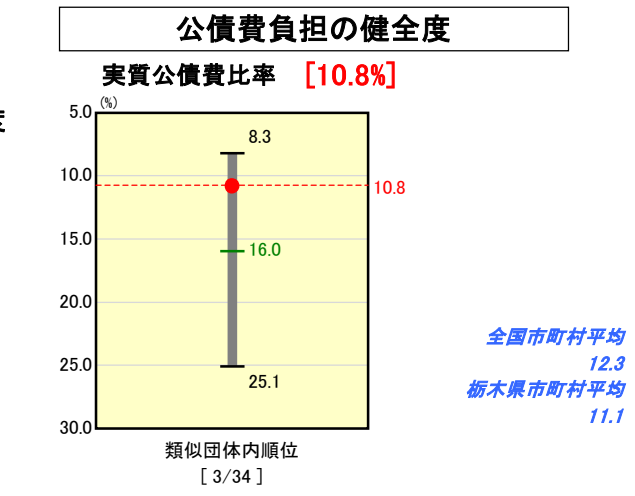
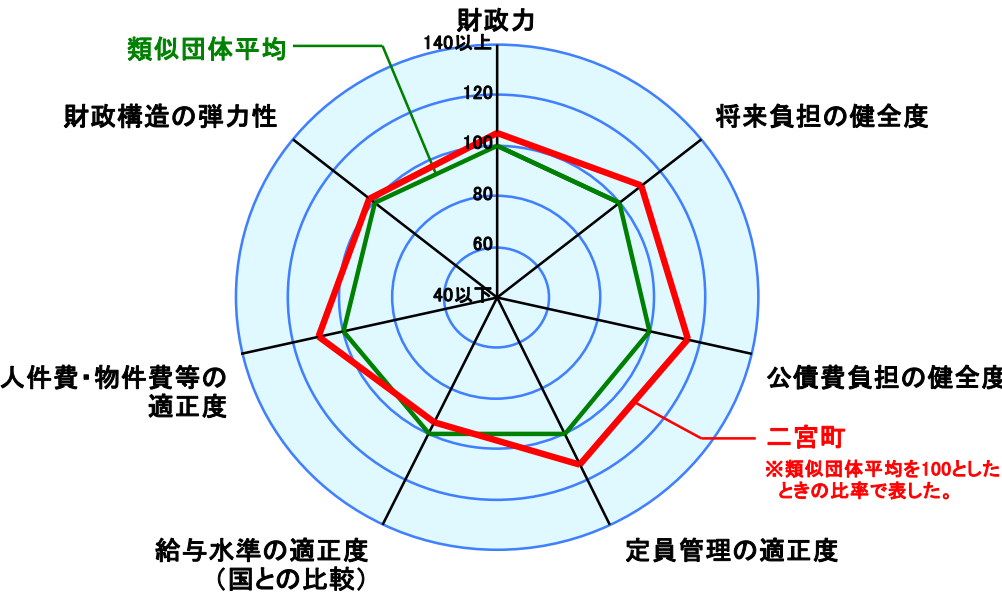
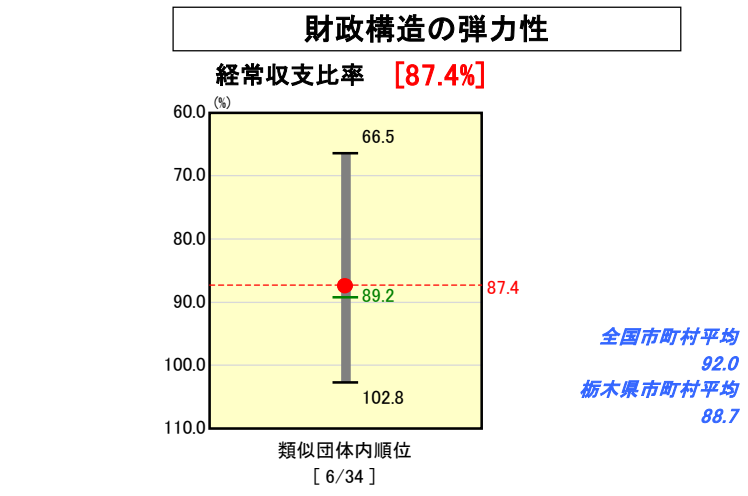
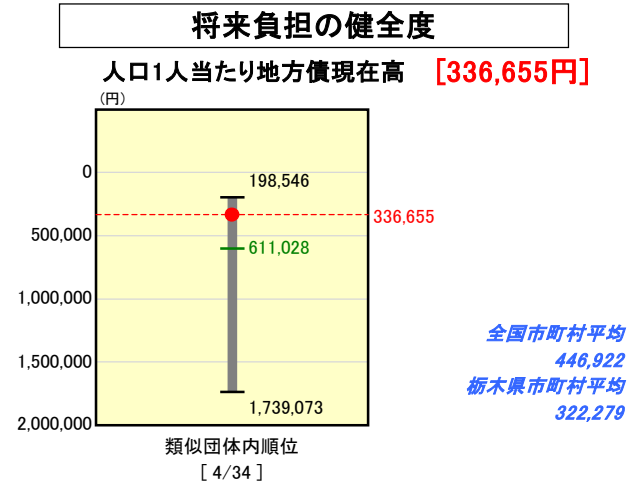
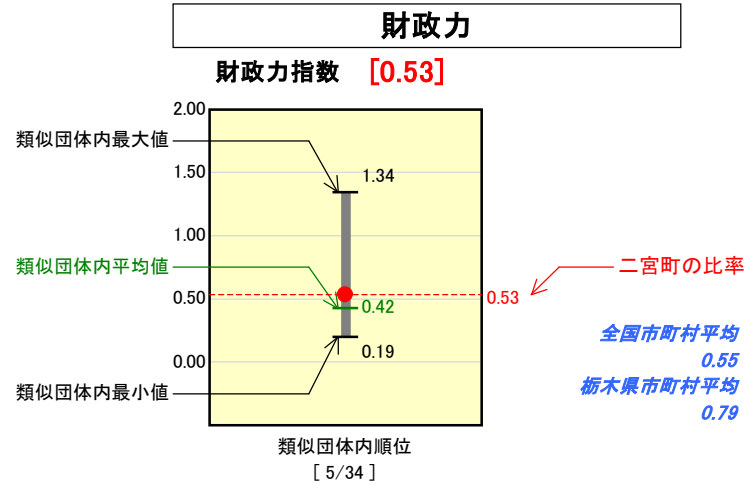


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

栃木県 二宮町

人口	16,244 人(H20.3.31現在)
面積	55.45 km ²
歳入総額	5,577,120 千円
歳出総額	5,187,066 千円
実質収支	388,704 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
類似団体の平均を上回っているものの、県内市町村では下位に位置しており、依然として財政基盤は安定していない。そのため、平成21年3月23日に隣接する真岡市への編入合併により財政基盤の強化が図られるものである。なお、新市としても引き続き、人件費・物件費・維持補修費及び投資的経費を削減し、大規模な財政改革の推進による財政基盤の更なる強化を目指す。

【経常経費比率】
平成17年度より実施している「町行財政改革推進計画」により、町職員の時間外手当の抑制及び管理職手当の20%カットを実施し、人件費の削減、マネジメントサイクルを取り入れることにより、事業の優先度を厳しく点検し、優先度の低い事務事業の廃止・縮小を進め、経常経費の削減を図ってきたが、合併により効率的な事業展開により費用の抑制が今後見込まれる。

【実質公債費比率】
過去からの起債抑制策により類似団体平均を下回っている。今後も、緊急度・住民ニーズ等を的確に把握した事業選択により、引き続き水準を抑える。

【人口1人当たり地方債現在高】
近年、大規模事業が少なかったことから、現在のところ類似団体を大幅に下回っているが、今後、平成19～20年度に小学校校舎建設事業を実施しており、平成19年度に地方債発行額(204百万円)があった。また、平成20年度も地方債発行(339百万円)を予定しており、このことから、他事業における地方債の発行抑制に努め、類似団体平均を上回ることがないよう努める。

【ラスパイルズ指数】
全国町村平均を上回っているため、人事評価制度の導入により、職務・職責に応じた給与制度の運用を図ってきた。さらに、職員の時間外抑制及び管理職手当の20%削減を継続的に実施し、給与の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
類似団体平均を大きく下回るものの、職員の10%削減を目標とした組織機構の見直し等を実施してきた。今後、合併に伴い新市として定員適正化計画を基に計画的な人事管理を進めていく。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
類似団体平均に比べ低くなっているのは、行財政改革等によるものであり人件費・物件費等の削減に努めた結果であり、今後も業務の民間委託や経費の抑制に努める。